

1. 意見

名寄川流域の住民として、サヘルタシ建議上にあって期
対でざるのは、昨年のうきを崩壊期や大雨による名寄川
と周辺水域の増加に対する農地が冠水する被害が
ケムの水量調整による名寄川の水位を下げさせたこ
程地排水を行ない、農地の冠水が防げるのであるが、
また、夏の積水期には名寄川の水位と調整して貯水
や蓄水用を安定して確保できる。